

電気の仕事の種類について、スライドがとても分かりやすく、先生の話方も自然と引き込まれるもので、内容がよく理解できました。特に、日本の職業の約49%が機械化される可能性があるという話が印象に残りました。その中で、電気の分野はどうか、将来仕事を失わないためには何が必要なのかを教えていただき、これからの企業選びを考えるうえでとても大切な視点だと感じました。

また、電気の世界では業務独占資格が特に重要であることも分かりました。資格があることで自分の強みになると知り、まずは第二種電気工事士に合格し、その後は電験三種にも挑戦してみたいと思いました。さらに、もし可能であれば高校在学中に第一種電気工事士にも挑戦したいと思います。

今回の講義を通して、自分の将来についてより具体的に考えるきっかけになりました。

今回、石原先生の講話を聞いて、なぜ資格が必要なのか、そして私たちの生活の中で電気がどれほど大切な存在であるかを理解することができました。

まず、「性格によって向いている職業がある」という話が印象に残りました。施工の仕事には、ゼネコン・サブコン・施工業者の3つがあることを知りました。ゼネコンやサブコンでは女性も多く活躍しており、工程管理・安全管理・品質管理・原価管理など、さまざまな管理業務を担当する職種であることが分かりました。また、ゼネコンになるほど年収が1,000万円を超える場合もあると知り、とても驚きました。

さらに、これからの時代は電験三種の取得がとても重要であり、特に業務独占資格が大きな強みになることを学びました。

最後に、石原先生の「目標がなければ頑張れない」という言葉が心に残りました。自分も目標をしっかりと持ち、それに向かって必要な力を身につけていきたいと思いました。

本日は講話をしていただき、本当にありがとうございました。熱意とユーモアのあるお話で、これから電気の世界がどのように変わっていくのか、そして私たちがその変化にどう対応していくべきかを具体的に知ることができました。

私は、これまで電験三種は自分にはあまりにも遠い存在で、「どうせ受からないだろうし、受けても無駄かもしれない」と思っていました。しかし、先生のお話を聞いて「絶対に受かる」という気持ちを持つことができました。また、電験三種がどれだけ重要な資格なのかも理解し、挑戦してみたいという気持ちが強くなりました。

今回のお話がなければ、試験を受けようと思わなかったかもしれません。本当に自分の考え方が変わる、ためになる講話でした。改めて、本当にありがとうございました。

石原先生がお話しされていた生徒の例が、これまでの自分の経験と重なる部分が多く、とても共感しながら聞くことができました。その人の特徴から向いている仕事があることや、これから約50年間働く仕事を自分で決めていかなければならないという自覚を持つことができました。そのためには、何が必要なのかを考え、目標を立てることが大切だと分かりました。

また、10年後には今ある仕事の約50%が自動化される可能性があるという話も印象に残りました。これからの時代の変化に対応できる力を身につけることを考えながら、進路を考えていきたいと思いました。

現在挑戦している第二種電気工事士や、講話の中で何度も出てきた電験がどれだけ重要な資格なのかも理解できました。まずは電気工事士に合格し、その後はチャンスを逃さず第一種電気工事士や電験三種にも挑戦したいと考えています。

将来の進む道がよりはっきりと見えた、とてもためになる講話でした。本当にありがとうございました。

最近ニュースを見ていて、なぜ今、技術者が必要とされているのかが分かりました。仕事がだんだんAIに取って代わる中で、電気の仕事のように人にしかできない分野があることを知り、とても印象に残りました。

また、資格を取得することの大切さも改めて理解しました。資格を持っていることで、自分がやりたい仕事に就けたり、会社から必要とされる人材になれたりするという話を聞き、将来のためにも積極的に挑戦したいと思いました。

さらに、目標を持つことの大切さや、メンタル・スキル・フィジカル・ライフスキルの4つを意識することが重要だと学びました。これから受験する電気工事士の試験や進路について考えるうえで、とても良い機会になったと思います。

電気系の分野には業務独占資格があるので、やはり資格がとても大切だと強く感じました。

今回の講話を聞いて、資格がどれだけ自分の将来を広げ、人生を有利にしてくれるのかを知りました。僕たちは高校受験で掛川工業高校の電気電子工学科に入学できた時点で、すでに大きなチャンスをつかんでいるのだと感じました。

これからの時代はAIがどんどん発達し、約49%の仕事がなくなる可能性があると言われていています。しかし、その一方で電気の知識や技術を持った人材はますます必要とされるという話を聞き、電気を学んでいることは大きな強みになると分かりました。

また、これからはガソリン車から電気自動車へと変わっていくなど、社会全体が電気を中心に動いていくことも知りました。そのような時代の中で、電気の知識がなければ生き抜いていくことが難しくなるかもしれないと感じました。

さらに、超大手企業に入るためには国立大学の大学院に進学するなど、高い学歴が必要な場合もありますが、受験三種のような難関資格を取得することで、大手企業に入れる可能性が広がるということも知りました。

今回の講話を通して、資格を取るることの大切さと、自分の将来の可能性について真剣に考えるきっかけになりました。